

建設技術公開「E E 東北'13」 ”復興へ、今こそ活かそう新技術”

～ 平成25年6月、出展者289社による新技術の展示公開を行います ～

建設事業に係わる新材料・新工法、その他時代のニーズに対応して開発された新技術を公開し、その普及を図ることにより、さらに新たな技術開発の促進と、良質な社会資本整備を通じて地域社会の発展に寄与することを目的として開催しており、今回で23回目を迎えることとなりました。

名 称 : 建設技術公開「E E 東北'13」
開催日時 : 平成25年6月5日(水) 10:00～16:30
平成25年6月6日(木) 9:30～16:00 (2日間)
場 所 : 夢メッセみやぎ(みやぎ産業交流センター)

●「復興へ、今こそ活かそう新技術」をキャッチコピーに掲げ、建設関連の新技術を展示公開します。

●出展社数

E E 東北'13の出展申込に関しては昨年に続き多くの申込をいただきました。

出展申込社数 : 289社 (出展技術数677技術)

※前回E E 東北'12:295社 661技術

●出展技術分野

全出展技術数677技術のうち復旧・復興に関する技術分野での出展が177技術と最も多くなっています。

◆主 催

「E E 東北」実行委員会 (委員長: 東北地方整備局 企画部長)

[実行委員会 構成団体名]

(社)日本建設業連合会東北支部、(一社)日本道路建設業協会東北支部、(一社)日本建設機械施工協会東北支部、全国コンクリート製品協会東北支部、(一社)全国特定法面保護協会東北地方支部、東北建設業協会連合会、(社)東北建設協会、(社)日本埋立浚渫協会東北支部、(一社)建設電気技術協会東北支部、(一社)建設コンサルタント協会東北支部、東北地方整備局、青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県、仙台市、東日本高速道路(株)東北支社

◇発表記者会 : 宮城県政記者会、東北電力記者会、東北専門記者会

問い合わせ先

「E E 東北」実行委員会事務局
(多賀城市桜木3丁目6-1 東北技術事務所内)
TEL 022-365-8047 FAX022-365-5938
作業部会長 かの やすひこ 鹿野 安彦、事務局長 いとう けい 伊藤 圭

「E E 東北' 1 3」における出展申込状況について

○E E とは

E Eとは、英語のEngineering Exhibition（エンジニアリング・エキシビション）の略で技術を広く公開するという意味が込められています。

○キャッチコピーの決定

3月13日（水）開催の実行委員会において、E E 東北' 1 3のキャッチコピーが下記のとおり決定しました。

「復興へ、今こそ活かそう新技術」

○出展社数【289社】

「E E' 東北13」につきましては前回のE E 東北' 12とほぼ同規模の289社からの出展申込をいただきました。（E E 東北' 12の出展社数295社）

○開催規模

E E 東北は例年「夢メッセみやぎ」を会場として開催しています。

今回も多くの出展申込をいただいたため、前回と同様に、屋内展示場全面を使い開催することとしました。

○新技術展示会【展示技術数677技術】

「E E 東北' 13」の新技術展示会では、従来の6つの技術分野に新たに「復旧・復興に関する技術分野」を加えた7つの技術分野で募集を行いました。

出展社の皆様から677技術の出展申込があり、「復旧・復興に関する技術分野」が177技術と最も多くなっています。

その他、各技術分野ごとの出展技術数は以下のとおりです。

※技術数は3月14日現在のものです。今後変動することがあります。

1. 復旧・復興に関する技術分野	177技術
2. 建設段階の技術分野	127技術
3. 維持管理の技術分野	144技術
4. 点検診断、モニタリング等の技術分野	39技術
5. 建設副産物、リサイクル等の技術分野	11技術
6. 防災、安全等の技術分野	136技術
7. その他共通の技術分野	43技術

出展技術数においても前回の「E E 東北' 12」とほぼ同規模の出展技術数となっています。（E E 東北' 12の出展技術数：661技術）

○新技術プレゼンテーション【38技術】

6月5日、6日の両日において、出展者による「復旧復興」「建設段階」「維持管理」「防災安全」をテーマとした38技術の新技術プレゼンテーションを行います。

今年も多くの最新建設技術が展示されます。多くの皆様の来場を期待しています。